

7月の園だより

2020年6月25日
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園

6月23日

登園自粛が解除され、幼稚園にも多くの子どもたちの声が聞こえるようになりました。水遊びも始まり、毎日小さな天使たちからたくさんの笑顔をいただいています。6月22日の「プール開き」では、箭野主教から水の事故から子どもたちを守っていただきたいというお祈りをさせていただきました。



7月の主題聖句は「今日を喜び祝い、喜び躍ろう」です。『キリスト教保育』という雑誌に毎月の主題の解説が書かれていますので、抜粋します。

聖書は語ります。「今日を喜び祝い、喜び躍ろう」と。ただし、この「喜び」は、「うれしさ」や「楽しさ」とは異なります。人はいつも明るい気持ちであることはできません。(中略)生きていく限り、人生には望ましくないことが必ず起きます。イエスさまも「あなたがたには世で苦難がある」(ヨハネ 16:33)とっておられます。ですから、苦難を「あってはならないこと」と考える必要はないのです。「バチ」ではない苦難があるのです。しかし、どんなときにも、神さまはあなたを愛しておられる。そのことをいつも忘れずにいよとということが、「いつも喜んでいなさい」という言葉の意味することだと思えます。(中略)いつも喜び、絶えず祈る。どんなことにも感謝する。どのこと一つをとっても「キリスト・イエスにおいて」初めて可能となることです。イエスさま抜きにしてはできないけれども、イエスさまが可能にしてください。これらの勧めは冷たい命令ではなく、「わたしが共にいるから、大丈夫だよ」というイエスさまからの励ましの言葉です。(キリスト教保育7月号より)

『わたしが共にいるから、大丈夫だよ』この言葉は、イエスさまだけでなく、保護者や保育者の言葉としても大切にしたいものです。

7月のテーマは、「きもちいいね」「遊びこむ」です。まさに言葉通りの生活をめざします。

このところ、年長さんが、何やら動き出しています。何か楽しいことを考えているのでしょうか。目の輝きを見ていればわかります。

「何かやってみる」→「楽しい」→「もっとやってみたい」→「もっと楽しい」→「レベルを上げたり、内容を変えたりしてみたい」→「もっとやりたい」

こういう経験を繰り返すことで、子どもたちは成長していきます。楽しくてワクワクするような体験がたくさんできるように保育士たちは、一生懸命「頭と体」を使って頑張っています。園長は、笑顔をふりまいているだけです(笑)

「さようなら」「またね」と笑顔でお別れできることに喜びを感じている毎日です。

園長 澤田二三夫

2020年度の年主題：こころが満たされる

7月のテーマ	月のねがい	
きもちいいね	0歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の祈りやさんびかに親しむ。 ・食事、睡眠を十分にとり健康に過ごす。 ・温水遊びや沐浴を通して、水の心地よさを感じ楽しむ。
	1・2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒にさんびかを歌う。 ・土や砂、水などにふれて感触を知り楽しむ。 ・保育者の関わりによって自分の思いを知る。
遊びこむ	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に祈り、賛美することを学ぶ。 ・好きな遊びをこころゆくまで楽しむ。 ・着替える、休息する、身体を清潔にすることの心地よさを感じる。
	4・5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの中にも神さまに祈りたい気持ちが芽生える。 ・好きな遊びを繰り返し楽しみ、工夫したり探求したりする楽しさを味わう。 ・主体的に生活に関わろうとする。
聖句	今日を喜び祝い、喜び躍ろう。(詩編118編24)	

7月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土
			1 T年中	2	3 誕生会 (7月生れ)	4
5	6	7 T年長 たなばた会 (午後)	8 T年中・年少	9	10	11
12	13	14 T年長	15 T年中・年少	16 誕生会 (8月生れ)	17	18
19	20 終業式	21 個人懇談(乳児)	22	23 祝	24 祝	25
26	27	28	29	30	31	
個人懇談(乳児)						



